

開催県企画

開催県企画 愛媛県のがん登録

寺本典弘

四国がんセンター

愛媛県がん診療連携協議会・がん登録専門部会

第26回日本がん登録全国協議会学術集会
愛媛県医師会館 6月10日

開催県特別企画
愛媛県のがん登録

寺本典弘

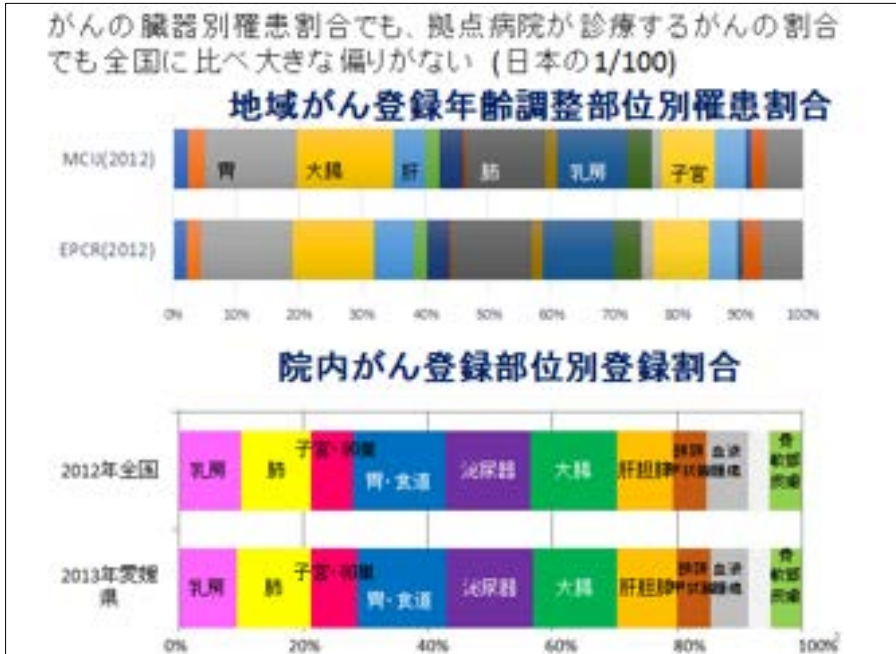
四国がんセンター

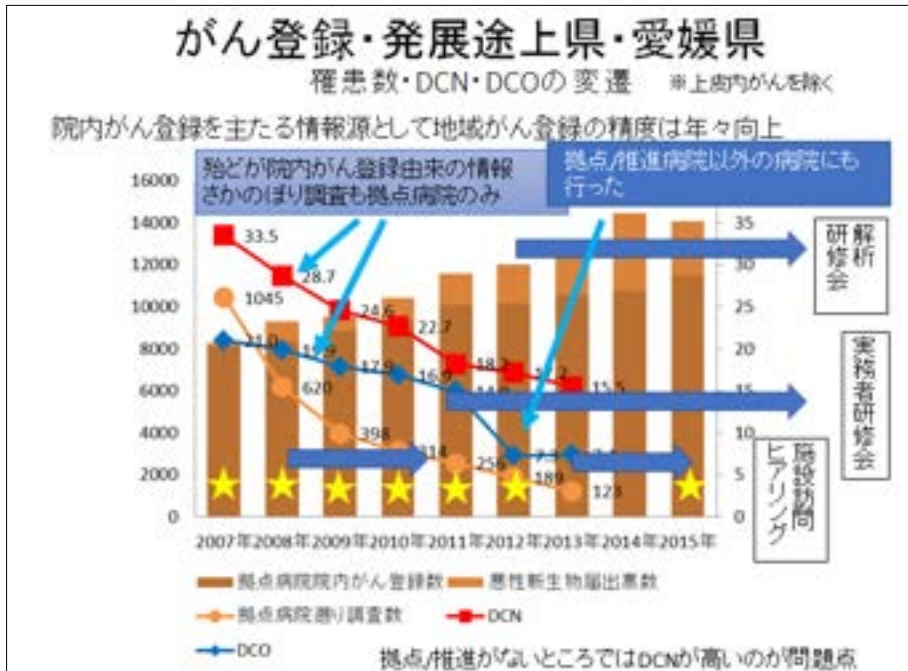
愛媛県がん診療連携協議会がん登録専門部会など



愛媛県はいろいろな指標で日本の1/100

		愛媛	全国
人口	(百万人)	1.37	127
人口一極集中	2016	36.7% 松山市	30% 首都圏
高齢化率(65歳以上人口割合)	2016	30.5%	26.7%
現役医師数/人口10万人		253	234
相対貧困率		20%	19.1%
喫煙習慣者(男性のみ)		40.4%	37.2%
肥満率(男性のみ)		33.0%	31.1%
飲酒習慣者(男性のみ)		38.1%	35.9%
全がん年齢調整死亡率(2015)		78.229	77.998
相対5年生存率	MCJ 2006-2008年	65.8%	62.1%
相対5年生存率	EPCR 2007	65.2%	
相対5年生存率	EPCR 2008	66.3%	
年齢調整罹患率(日本人口)	MCJ 2012	371.5	365.6





実務者研修会

・主に実習を中心とした研修会

- ・全国がん登録研修会
- ・院内がん登録研修会
 - ・通常会
 - ・『腫瘍登録士のための五大がん登録講座』
 - ・『がん登録初心者のためのがん登録講座』

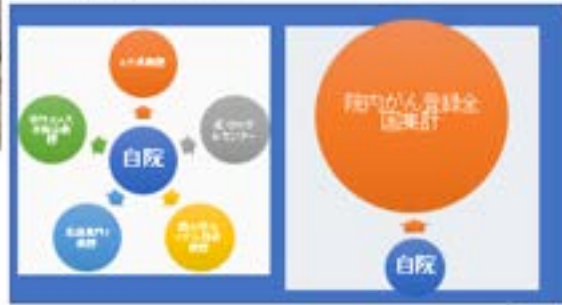


院内がん登録情報・解析研修会

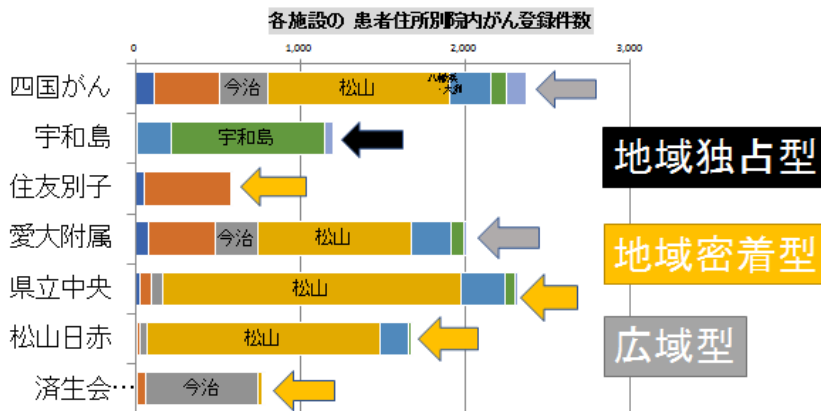
愛媛県がん診療連携協議会の事業
愛媛県内全拠点の院内がん登録データを集計し、解析



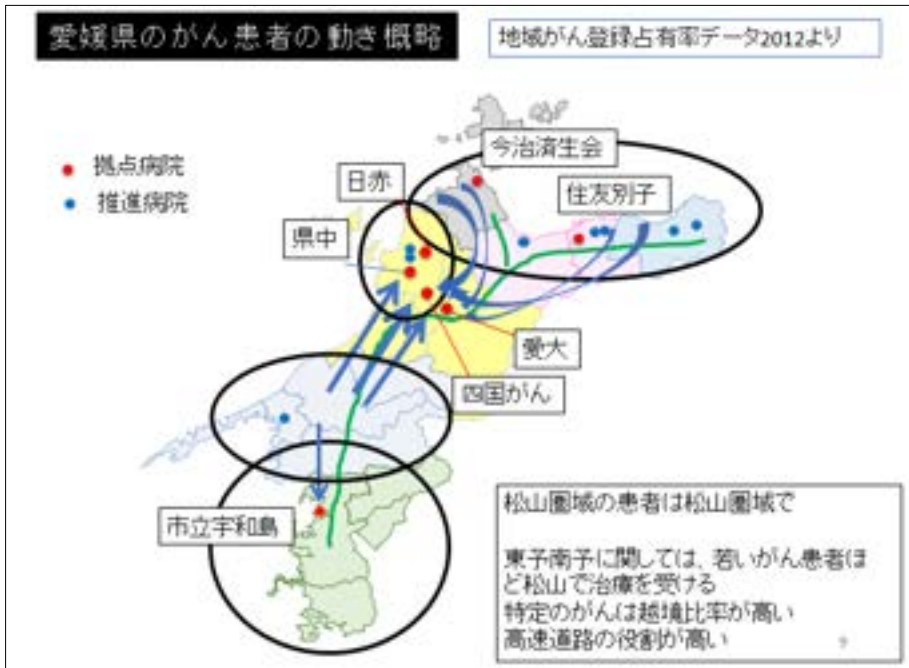
院内がん登録データをどっちと比較しますか？



解析研修会の解析から 愛媛の拠点病院はどここの患者を診ているか



『がん登録で見る愛媛のがん診療2015』



愛媛県のがん登録の中未来 *Impact of Artificial Intelligence*

・がん登録実務者は要らなくなる？

『金にならない、カルテの不備、共通の知識の不在、日本語』という要因のせいで

- ・すぐではあるまい
- ・楽にはなるかもしれない

・解析をする人は要らなくなる

『そもそも最低限(未満)の人数しかいない』という要因のせいで

- ・当座、不足のまま
- ・楽にはなるかもしれない

Impact of *Artificial Intelligence*

がん登録に関わる人の仕事は登録・集計そのものより情報提供・利用に移る

- **がん情報キュレーター がこれから必要**
 - 地域・施設の事情に合わせた情報解析提供

インターネットにおけるキュレーター
 インターネット上の大量の情報を収集・整理し他のユーザーに共有する行為や行為者を指す言葉。人間の手で選別することで、機械的に収集した情報を提示するロボット型検索エンジンよりも適切な情報が提供できるとされた。

みたいなことも出来る人材が必要になるであろう

Wikipediaより

では、それに備えた事業や人材育成を

11

需要や事業があってこそその育成

がん情報利活用・提供への苦闘

なかなか一大ムーブとはならない

愛媛県がん情報利用プロジェクト

院内がん登録情報解析研修会大発表会

第10回院内がん登録情報解析研修会 第10回発表会

「院内がん登録」からみえる愛媛のがん診療

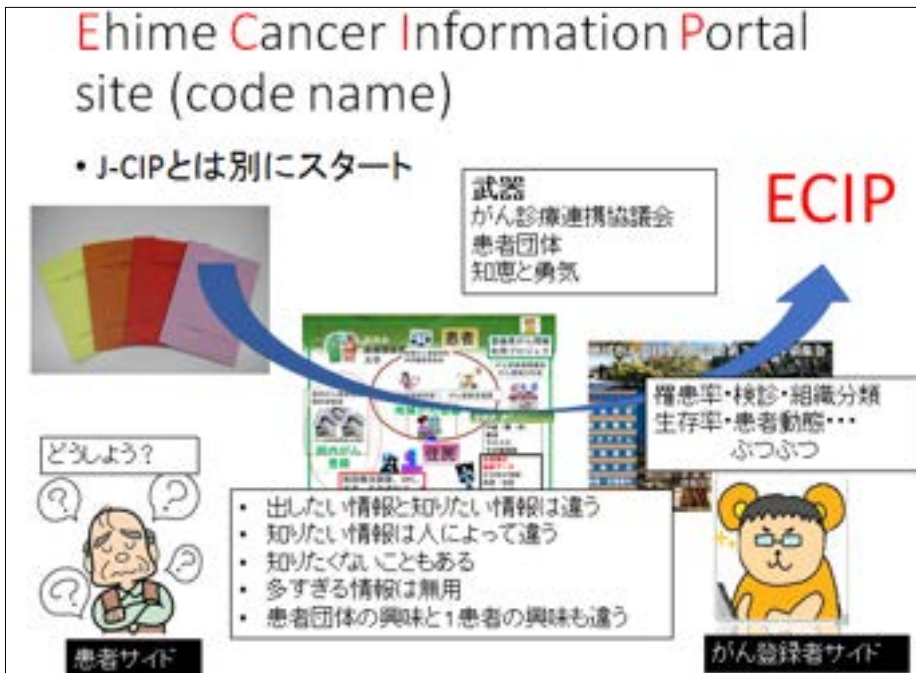
主催：愛媛県がん診療連携協議会・がん登録センター
 協賛：公益財団法人がんセンター 臨床研究センター がん予防・検診推進部

9月20日(水) 18:00～17:30
 県立中央病院 研修室(14棟)

— プログラム —

開会式挨拶 愛媛県がん診療連携協議会委員長 菊田博

1. 「院内がん登録—私たちが管理しています—」
 県立中央病院 がんセンター



愛媛県がん情報提供ページ がんサポートサイト愛媛

がん登録専門部会と相談支援部会の事業

参考文献

がん診療連携協議会の事業として県拠点の予後付き院内がん登録データを集め解析

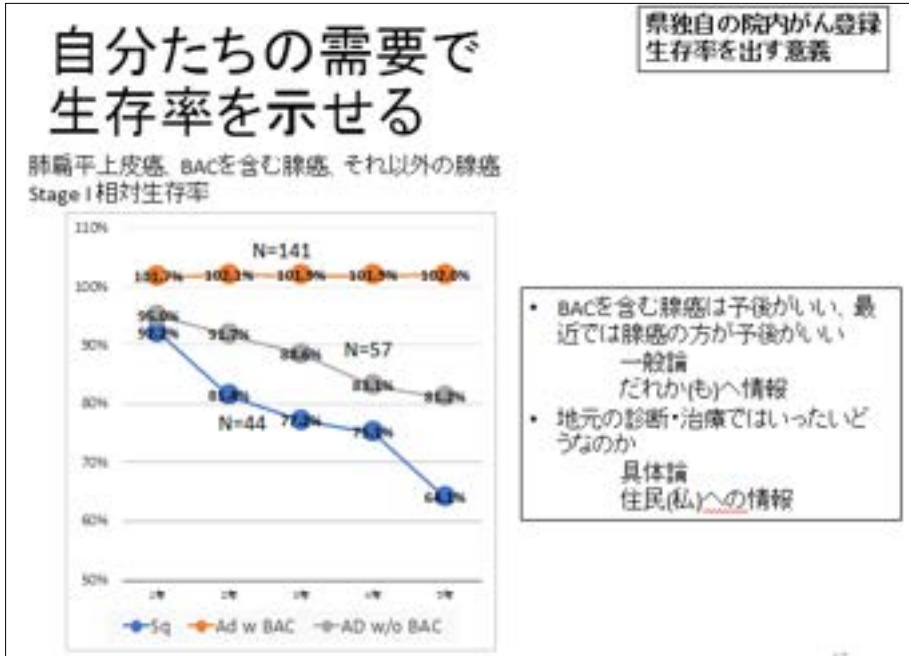
愛媛県院内がん登録生存率

県独自の院内がん登録生存率を出す意義

- 施設別生存率の問題
 - 患者属性・施設属性
- 拠点病院のがん診療を保障
 - 愛媛県の高い拠点占有率なら意義がある
- “進行度分類”の問題
 - UICC TNMで
- 独自集計が出来る
 - 各方面の興味つきやすい
- ECIPの三日月の目玉の一つ

**胃癌ステージⅢ
愛媛県7拠点院内がん2009
治療の総合力**

	実測	相対
NSHCR(全国)		
Kaplan(全がん種)	40.3%	45.0%



まとめ 愛媛県のがん登録

- 現在 がん登録はがん診療の羅針盤
 - 愛媛県のがん登録・がん診療は悪くはない ・すくくはない
 - 愛媛県はがん診療のモデルとなって来た地域
 - がんは医療対策のモデルとなる疾患 それに答えるデータの収集と提示
- 新時代 人の役割が最終的に娯楽だけになる前の時代のがん登録
 - がん登録にもAIの波が徐々にくるはず
 - 現場の実務者の役割も研究者の役割もJACRの役割も変わる 柔軟な発想、新しい役割

- 登録行為そのもの→提示・利用・公開
- 1地方だが、1/100として考えていきたい

18